


女神様
ご加護を
感謝いたします

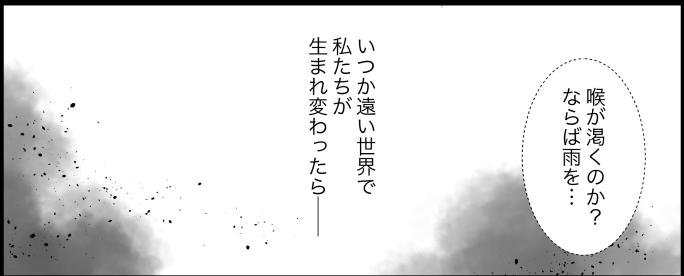
私の人生は
戦いの中に
ありましたが

女神様に見守られ
とても幸せでした



魔王を倒した
勇者よ
死ぬな

春は
もうすぐだぞ



喉が渇くのか？
ならば雨を…

いつか遠い世界で
私たちが
生まれ変わったら



異世界の
三月兔と
四月馬鹿



びっくりした！
先輩に聞こえたかと思っただけ…

ポーっと
しているようで
意外と勤がいいのかな

俺と先輩は
幼馴染みだ

家が近い俺たちは
幼い頃はよく
一緒に遊んでいた

しかし先輩が
学校に通うようになると
俺たちは疎遠になった

学年が異なれば
顔をあわせる
機会はなくなり

たまに登下校中
先輩を見かけたが
声をかけることも
なかった

月日は流れ
俺は先輩と
同じ●校に入学した

入学したばかりの頃
学校で先輩と
話す機会があった

先輩は俺のことを
おぼえていた

だけどそれきり
…一年が経った

話しかける
きっかけがなあ…



先輩のケツ…

その大人びた雰囲気と
身体の成長に驚いた

極上のおかずを得て
その晩はアレが
たいへんはかどった

一年経って
俺は成長できたの
だろうか…？

入学して
久しぶりに
先輩に会ったとき

背が伸びた
だけか…

ムンッ

昨年
痴漢から被害者を救い
無言で立ち去った
女生徒がいて

その制服から
ウチの生徒だった
らしい

一時その生徒が
先輩だという噂が
ささやかれたが

いかにも
そういうことを
しそうではある

先輩の方が
痴漢に遭いそうな
気もするが…

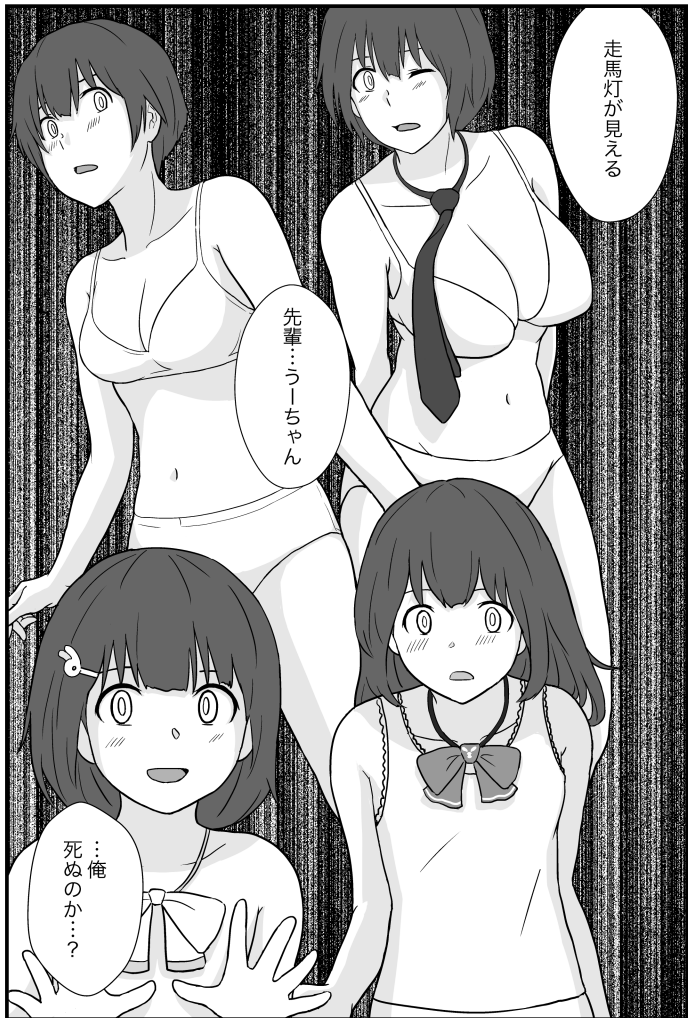
そのときは
俺がたすける！











走馬灯が見える

先輩……うーちゃん

……俺
死ぬのか……？



こんなことなら
早く先輩に
告白しておけばよかった

そついえは
先輩は小さい頃

ウサギが
好きだった

ウサギを追って
穴に落ちるお話
あれなんだっけ?



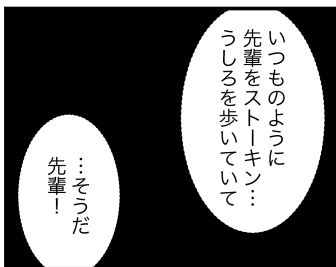
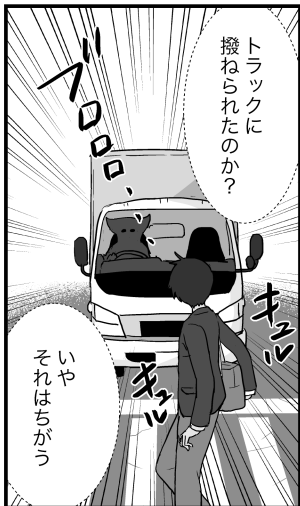
「うーちゃん」て
呼ばれていたから?

…なんで今
こんなこと
思い出したんだろう

一度で
いいから
先輩のバニーコス
見てみたかったな



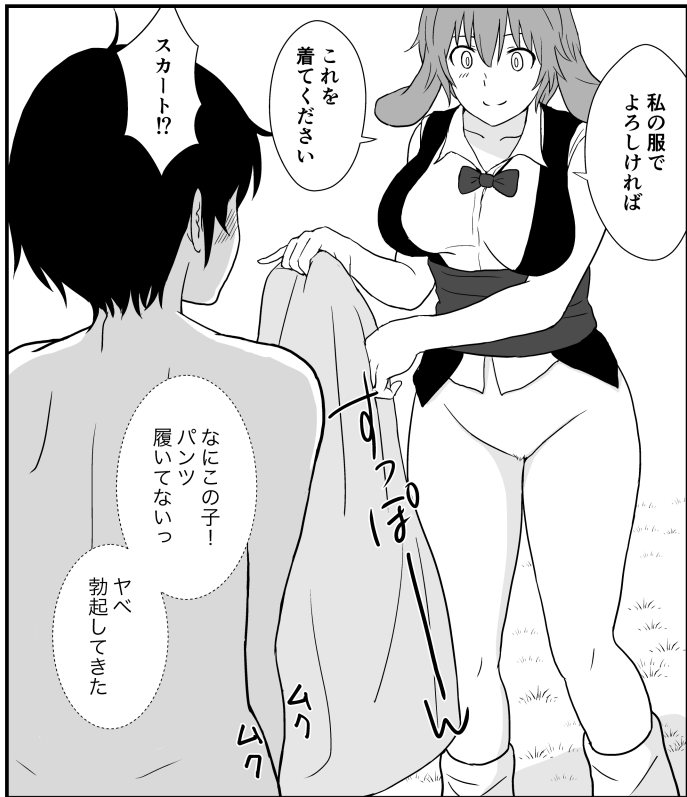
おまえのせいだか！

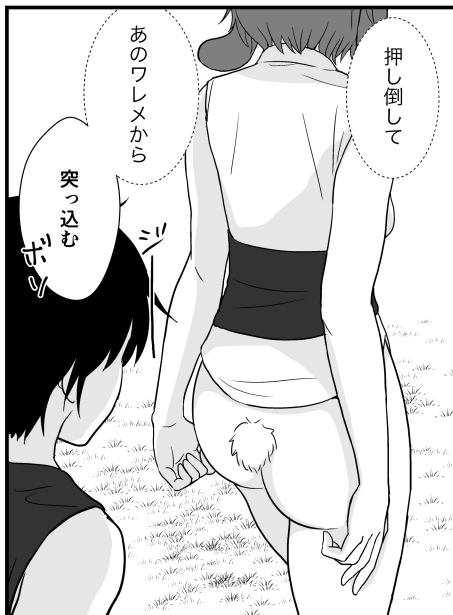
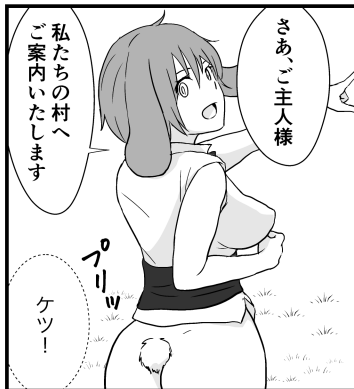




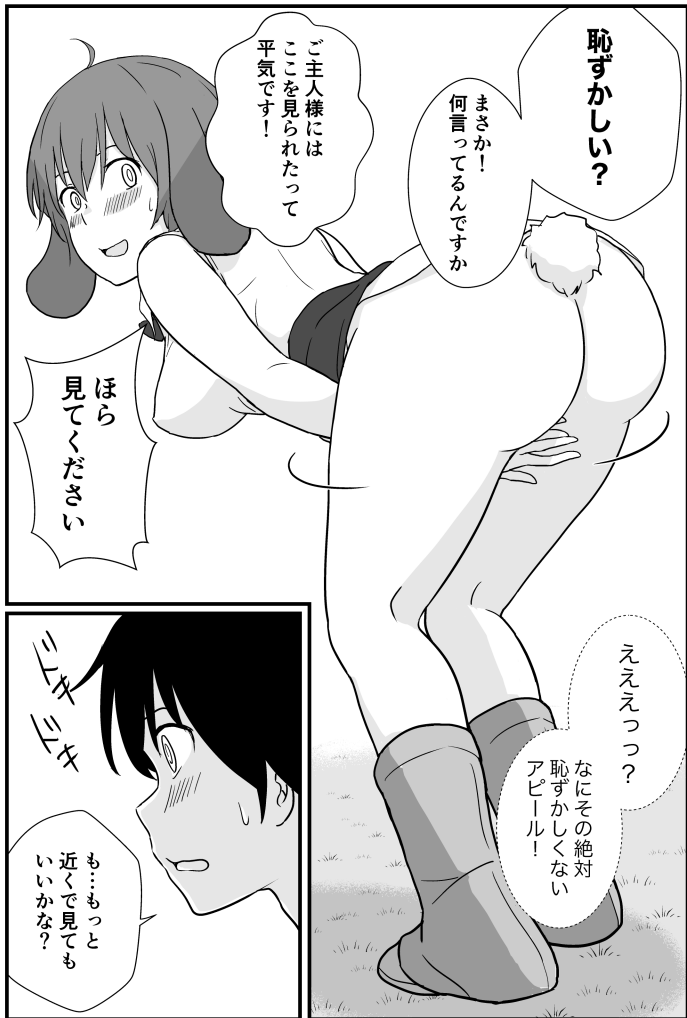












恥ずかしい?

まさか!
何言ってるんですか

ご主人様には
ここを見られたって
平気です!

ほら
見てください

えええつつ?

なにその絶対
恥ずかしくない
アピール!

も...もっと
近くで見ても
いいかな?

